

センター校だより

NO.1

特別支援教育センター校からの情報発信・ネットワーク

9月を迎え、各学校におかれては、子どもたちの賑やかな声で活気を取り戻しているのではないかと思います。さて、この夏、本校では22講座に渡る研修会を行い、そのうち11講座の研修会を公開いたしました。市内小中学校はもとより県内各地の特別支援学校や関係機関の専門家の方々も多数来られて、共に研修の機会をもつことができました。このことは本市の特別支援教育のセンター校としてのミッションを有する本校としても、大変喜ばしいことと思っております。「センター校だより」第1号ではその一端をご紹介します。

今後とも本校とのいっそうの連携・協力をよろしく申し上げます。



広島市立
広島特別支援学校
校長 中尾 秀行

公開研修会で専門家から共に学ぶ

ー作業療法士との連携によるスキルアップと交流をより確実なものに



上記の研修会は広島大学の石附先生と理学療法士の先生方をお招きし、「教師の専門性を高めるためにー作業療法士との連携を活かす支援についてー」というテーマのもと、講話に続いて事例を挙げてのワークショップを9グループに分かれて行いました。専門家の意見も参考にしながら障害実態の見立てを集団で協議し、再考したり新たな視点に気づいたりするなど、参加者全員が職種を超えて貴重な体験を積むことができました。

教材・教具が一同に会する

教材・教具は発達の溝を埋める 応募型へ一層の充実を期しての試み



今年で4回目になる教材・教具展示会。今年は本校以外の小中学校からの作品募集を呼びかけました。来校者(小中学校特別支援学級の先生)からは次のようなうれしいメッセージが寄せられていました。



今年度、はじめて特別支援学級を担当し、不安いっぱいですが、先生方の教材を見せていただいて、「これならわかるよね」と楽しい手頃な教材がたくさんあり、児童の実態把握と支援のきめ細かさに感動しました。9月から私もやってみようと思う教材がたくさんありました。ありがとうございました。

こちらこそ、疲れがふつとぶ応援メッセージをありがとうございました。子どもたちのために、互いに学び合いながら共にがんばりましょう！

二つの相談会、開かれる



- 教育相談会と生活支援相談会

例年冬に開催していた教育相談会を少しでも各小中学校の取組に早く役立つよう、今年度より夏季休業中に開催しました。8月7日から12日までの相談期間に小中学校から6件の相談が寄せられ、コーディネーター委員会を中心とした本校のスタッフが教育相談会を実施しました。また昨年に続き作業所や地域支援室の方々を相談者に迎え入れ、校内の保護者の方々を中心にした具体的な地域や生活上の相談を受けました。いずれも大変好評でした。

一回限りの相談に終わることなく今後も継続した電話等でのフォローアップ等も行うなど、出会いを大切にしたいと思います。

ひるがえ

本通りに翻った平和の大きな大きな絵

小学部児童4年から6年が心をこめて描いたメッセージ

この夏も8月1日から下旬にかけて中区の中心街である本通りに本校児童が心を込めて描いた大きな絵が展示され、たくさんの街行く人々に見て頂くことができました。広島に生まれた子どもたちの仲間として、とても素直な平和へのメッセージを大きな布一杯に絵で託すことができたのではないかと思います。ステキな絵をありがとう！



学校が変わる・学校を変える 教育に夢と希望とロマンを！

本校公開授業研究会は12月2日(水)

研究主題 一人一人の教育的ニーズに応じ、生きる力をはぐくむ授業づくり

内容は、 公開授業 講演 太田正己先生（皇學館大学社会福祉学部教授）

研究発表と充実の一日です。10月中旬に第2次案内を発送予定です。乞ご期待！

御感想や御質問等を受け付けております。どしどし御連絡ください。連絡先は次のとおりです。

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目4-4 (082) 245-0304 小学部主事 友田まで

E-mail yougo-s@e.city.hiroshima.jp

当通信は文部科学省の平成21年度「発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業」を受けて発行しています。